

メディカル グローアップ

Medical Grow UP

医療人を育成する人事評価システム 「メディカルグローアップ」

近年、度重なる診療報酬の改定や医師不足など多くの問題が病院経営を圧迫し、厳しい時代が続いています。そのような状況の中でも、患者様の満足度の向上をはじめとした質の高い医療サービスの提供が求められています。医療サービスの向上を図る上で、人事育成システムの構築は必要不可欠です。また、病院経営戦略においても優秀な職員の育成は重要な課題の一つです。

現在、医療機関の多くが人事評価を行っています。しかしながら、職種別の評価は行われていても、病院全体で統一された評価がなされていない現状があります。様々な専門職で成り立っている医療機関において、職員を適正に評価するシステムを構築することが重要です。

この厳しい時代を乗り越えるためには、職員の団結が必要であり、また、しっかりとした人事評価を行うことが求められます。

そのための人事評価システムが「メディカルグローアップ」です。

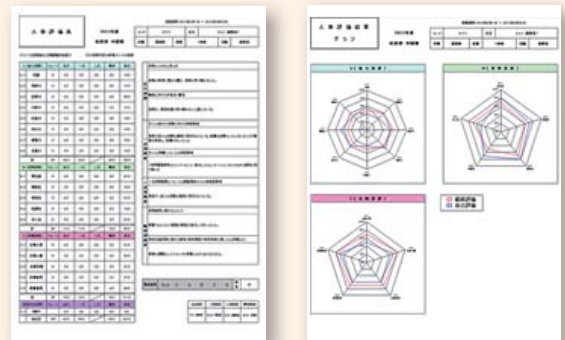
人事評価における問題点・要望

- ・職種や役職にあった評価をしたいが、評価内容を考えるのが面倒、困難。
- ・人事評価表の準備や職員名簿（チェックリスト）の作成が面倒。
- ・データ入力、集計作業などに時間がかかる。
- ・データを人事評価以外にも活用したいが、分析作業に時間がかかる。
- ・職員の評価を元にバランスの取れた人材配置を行いたい。

人事評価システム「メディカルグローアップ」導入

職員一人一人のモチベーションアップ・離職率の低下・医療サービスの質の向上

人材育成・経営改善



<人事評価表見本>

人事評価システム「メディカルグローアップ」の活用

人材の適正配置

1. 能力や適正を評価し、異動など組織の人材配置への活用を行う。
2. 評価レベルに応じたバランスの取れた人材配置を行う。

公正な処遇

1. 努力の過程や成績などを評価し、昇格・昇給などを公正に決定する。
2. 業務を通じて組織の発展に寄与している者を明らかにする。

能力の開発や活性化

1. 職員の長所や短所を把握し、教育や能力開発に役立てる。
2. 評価基準を明らかにすることで、方向性や目標が定められ、職員のモチベーションを上げることができる。

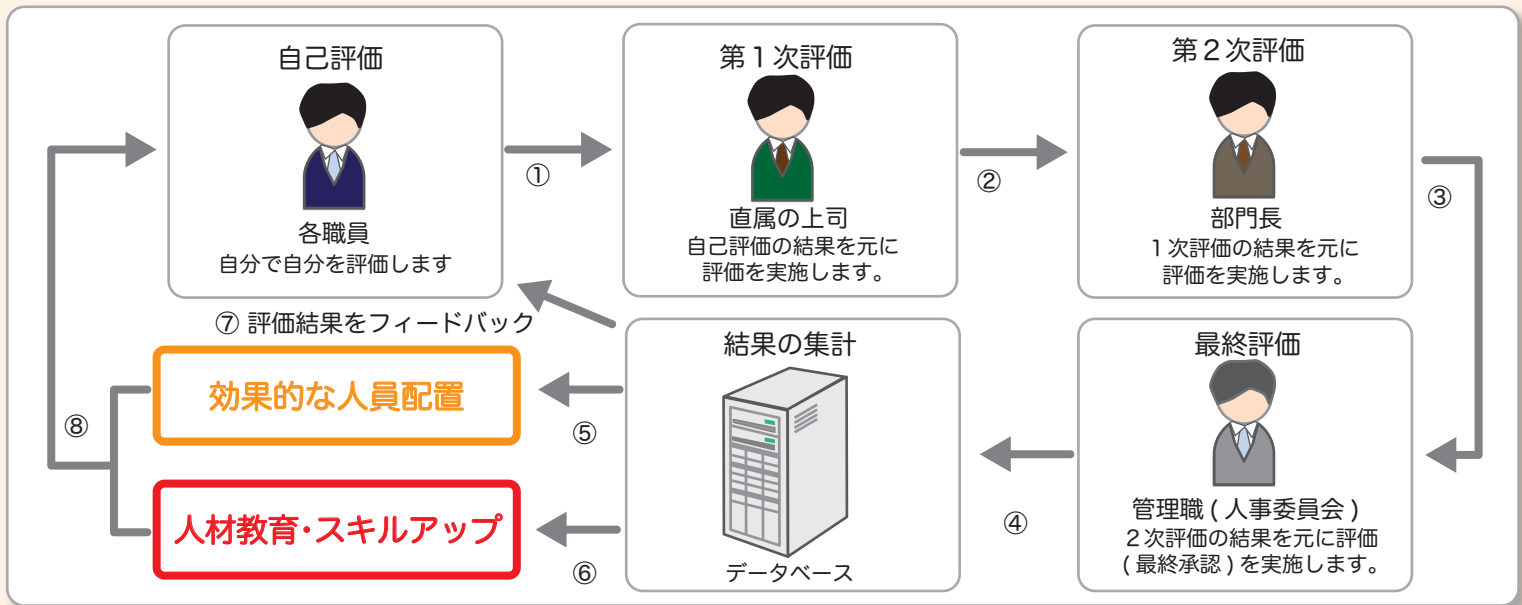
組織の団結

1. 目標設定により、病院全体の方向性や「医療人」として期待する人物像を理解させ、職員の意識の統一や業務に取り組む姿勢を示す。

評価結果の活用

1. 部署や病院全体の傾向を把握することができる。
2. 個人や部署などの結果について分析を行うことにより、個人の教育や組織の活性化を図ることができる。

人事評価の流れ



人事評価システム「メディカルグローアップ」のメリット・特徴

1. インターネットを利用することで時間やコストを削減

- ・インターネット上で評価を行うことで、評価表等の配付・回収にかかる時間やコストを抑えることができます。
- ・24時間場所を選ばず、どこでも評価作業を行うことができます。



<自己評価入力画面>

2. 目標設定機能

- ・院内目標・部門目標・部署目標を明示し、個人別に目標を設定することでプロジェクトの合意形成を図ります。
- ・個人のスキルアップを導き出すことで組織力の強化につながります。
- ・目標達成に向けて面談を行うことで、目標の管理や進捗状況を把握し、問題点の解決を支援することができます。



<目標設定入力画面>

3. 行動計画・研修参加記録

- ・目標を達成するための行動計画や研修会への参加記録を登録することで、職員のモチベーション維持につながります。
- ・評価を行う際にこれらの記録を参照し、評価の判断の支援をすることができます。

4. 立場にあった公正・公平な評価

- ・評価は最大3段階であり、複数の目で評価することにより、「過大評価」や「寛大評価」、あるいは「対比誤差」といった人間特有の評価誤差を防ぎます。
- ・目標や評価尺度を部門別、または職位別（管理職・中間職・一般職）に自由に設定することが可能です。
- ・評価項目の重要性や期待度の大きさに合わせてウェイトを設定することができます。したがって、立場に即した評価や病院の求める人間像に見合った評価が行えます。



<入力状況確認画面>

5. 結果のフィードバック

- ・自己評価に加え、最終評価や評価チャートを明示し評価結果を職員へフィードバックすることで、自分自身を見つめ直すことができ自己啓発を促します。

6. 個人情報保護も万全

- ・対象者全員にID・パスワードを発行し、個人情報の保護を行います。
- ・権限を設定することで、閲覧範囲や入出力範囲を制限することができます。

7. スマートフォン用入力画面（オプション）

- ・スマートフォンやタブレットに最適化した入力画面を利用することができます。
- ・自己評価、目標、行動計画、研修参加記録、1次～最終評価など、基本的な入力操作を全て行えます。

必須環境

インターネットに接続されているパソコン
 ブラウザソフト：Microsoft Internet Explorer 8 以上
 オフィスソフト：Microsoft excel 2007 以上
 マニュアルの閲覧には PDF を表示できるソフトが必要です。
 ※Microsoft Internet Explorer は Microsoft Corp の登録商標です。
 ※Microsoft excel は Microsoft Corp の登録商標です。

ご注意

- ・仕様は機能・性能向上のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・本書に記載されている色調は印刷の都合上、実際のものとは異なることがありますのでご了承ください。

株式会社 アイ・ピー・エム

〒815-0033

福岡県福岡市南区大橋2丁目5-1 センターウィング大橋2階

TEL：092-554-5341 FAX：092-554-5342

ipm co.ltd.
 information
 planning
 management